

## 第12回定期総会 記念講演

「重症心身障害児者の生活支援のために」

社会福祉法人十愛会 横浜療育医療センター 地域生活課 増渕晴美氏



↑ 増渕晴美氏

横浜療育医療センターは、重症心身障害児者の入所、通所、訪問事業、外来、入院を行う総合療育医療施設です。増渕氏は、この重心施設の機能を頼りにどの様に地域を応援できるかを考えることが、地域生活課の仕事と話されました。

「朋」に代表される訪問の家の事業実践は、重い障害を持った方を家族以外の方がサポートすることで、在宅生活を支えようとするものです。そのために必要なものは作っていくという姿勢で、グループホームまで先駆的な役割を果たしてきました。

しかし、障害の重度化、医療的ケアの必要、家族の介護力の低下という現実が入院機能を持たない施設では、生活の場としては限界があります。

地域で豊かに暮らしたいという重症児者の思いを受け止めて、横浜療育医療センターは、重症児者に関係する外部の事業所（グループホーム、ホームヘルパー）・養護学校等に研修をすることで、重症児者の活動が広がることを目指しています。又、入所施設では、きっちりとしたケアをするあまり、内に内に向きがちですが、家族の関わりに近い関わり方でご本人が今まで活動してきたところを継続できるように、地域という視野を持つことが大切だということです。

福祉制度の激動期ですが、制度が変わっても重い障害を持つ方々にとって必要なこと、大事なことは変わらない、そのことを考えて取り組んでいきたいと話されました。

「福祉施策の大変革とこれからの重心施設  
大阪市の重心施設のめざすもの」

社会福祉法人愛徳福祉会 南大阪療育園新施設開設準備委員長 児玉和夫氏



↑ 児玉和夫氏

児玉先生は東京のむらさき保育園施設長として長くご活躍され、様々な実践の紹介がありました。

重症児施設は医療か？生活か？というのではなく、その任務と義務は、最も困っている人から受け入れて、医療と看護を支えに豊かな生活を作っていくことであり、世界に冠たる重症心身障害児施設ではあるけれども、一度入ったらそのまま一生入りっぱなしというのではなく、健康なら出る事を手助けするべきで、在宅、地域に開かれた施設であるべきであると話されました。

障害福祉施策の大変革の中、平成18年5月に施設体系の見直しがあり、新施設建設にあたって考えなければならないことが多々あります。

しかし「制度は基準のためにあるものではありません。制度はあくまで、困っている方々に対してどういう手を差しのべるのかの為に作られるわけですから、変化に惑わされることなく、最も重い障害を抱えた方々を医療面でも生活面でも、在宅、地域、施設を通じて支援していく取り組みを大阪市で作っていくという基本に立脚して進むべしです。そのためにご家族、関係者と密接な協議を進め、大阪市のしっかりした関与も要請したい」と初心に帰ることに尽きると語られ、一同力づけられました。

## 第12回定期総会・記念講演開催



大阪府健康福祉部 障害保健福祉室  
計画推進課 増井健人課長



右：大阪市健康福祉局 障害者施策部  
久保誠造施設整備担当課長

左：大阪市健康福祉局 障害者施策部  
障害施設課 赤木智義担当係長

去る六月十一日（土）、「たかつりデン」において、第十二回定期総会並びに記念講演会が開催されました。  
鈴木会長の挨拶に始まり、来賓挨拶、平成十六年度事業報告、会計報告、監事報告、平成十七年度事業計画、収支予算案と議事を進行之し、各議案とも出席者の承認を得、成立しました。  
午後後の記念講演「重症心身障害児者の地域生活支援のために」には150名を超える参加者がありました。社会福祉法人十愛会横浜療育医療センター、増渕晴美氏は、横浜療育医療センターの役割とこれから目指していきたいことについて、「社会福祉法人愛徳福祉会 南大阪療育園新施設開設準備委員長 児玉和夫氏は、自立支援法を踏まえて施設のあり方について示唆に富んだお話をされました。  
別室では障害のあるご本人を対象とした上映会等の催しと和気あいあいと行われました。これからも別室の体制を充実して、多くの当事者・家族に参加して頂きたいと願っており

OTK  
FRIENDS

No.44

大阪府重症心身障害児・者を支える会  
全国重症心身障害児者を守る会  
大阪支部

三原則を守る

決して争ってはいけない争いの中に弱いもの生き残ることはない  
親個人がいかなる主張があっても個人が運動に参加する者はも派遣を起えること  
最も弱いものを一人ももれ無く守る

# 平成十六年度事業報告

重症心身障害児者が、当たり前のようには暮らせるやましい地域作りを目指し、設立一〇周年という節目の期を迎えました。歳月の重さを抱き、基本理念、並びに活動方針に従い、このような活動を行いました。

この度、大阪市において初めてとなる重症心身障害児施設が設置されることとなりました。大阪市分会が大分から依頼を受け、長年活動をしてきた「重症心身障害者支援施設」のあり方が、検討会を経てようやく形になることから、「重症心身障害児施設建設支援」のためのチャリティ絵画展、実行委員会を組織し、一〇月に開催しました。平成一九年決定予定の重心施設を今後とも協力しながら全力で応援します。

1 会員の拡大のための事業  
一〇周年記念事業に際して、当会の紹介ビデオ、カラーパンフレットを作成し、親しみやすい会のPRに努めました。

2 一〇周年記念式典(記念講演)開催  
日時:平成一七年一月二五日(火)  
(記念式典一三〇〇~一三三〇)  
(記念講演一三四〇~一四一五)  
会場:阿倍野区民センター(大ホール)  
講師:赤村 淳史  
テーマ:「人・街・夢」

3 研究に関する事業  
重症心身障害児者の地域生活支援に関する講演会  
「重症心身障害児者の地域生活支援」  
平成一六年一月一日(月)一三三〇~一六四五

会場:大園際交流センター  
講師:清水 明彦氏(西宮市福祉協議会)のまよ上(西宮 センター)氏  
横浦 一郎氏(社会福祉法人愛徳福祉会)理事長  
\*守会近畿ブロック共催\*  
\*重慶心身障害児(者)在宅介護支援研修会\*  
日時:平成一六年二月四日(土)、五日(日)  
会場:早川福祉会館、クレオ大分南

4 交流事業  
集団指導(療育キャンプ)の中で交流会を実施  
兵庫東淡路(二〇〇四年)〇月三二(四日)  
5 啓発事業  
啓発書の懇談会(二〇〇五年二月二三日)  
障害者自立支援法案における「応急処置」反対にっ  
いて

6 機関紙の発行  
一〇「重症心身障害児施設建設支援のためのチャリティ絵画展」実施  
主催:「重症心身障害児施設建設支援のためのチャリティ絵画展」実行委員会  
会場:アポロホール  
来場者:11188名(一〇月九日)1326名

7 「重症心身障害児施設建設支援のためのチャリティ絵画展」実施  
主催:「重症心身障害児施設建設支援のためのチャリティ絵画展」実行委員会  
会場:アポロホール  
来場者:11188名(一〇月九日)1326名

一〇月 〇日田 4,22名、一〇月二二日田 4,2名  
・収益金 2,501,569円(総費を差引)  
2,501,569円を社会福祉法人愛徳福祉会(理事長横浦一郎)に寄附  
・協力:アットフォレス下  
月別活動報告  
四月 運営委員会  
五月 運営委員会  
六月 第一回定例会(四日) 記念講演会(四本寺さんいわ守の会創り四〇周年記念会(東野(二二)一三三三)  
七月 運営委員会  
八月 運営委員会  
九月 運営委員会  
一〇月 運営委員会  
一〇月 運営委員会  
チャリティ絵画展(九一一日) 集団指導(淡路)(二二一四日) 運営委員会  
重症心身障害児者の地域生活支援に関する講演会(二日) 機関紙「支える」発行  
二〇 運営委員会  
一〇月 運営委員会  
設立一〇周年記念式典 講演(二五)

二月 運営委員会  
要請書提出(七日)  
三月 運営委員会  
機関紙「支える」発行  
守るの会開席  
近畿ブロック運営委員  
平成一六年 四月三日(土) 大分府立青少年会館  
平成一六年 六月五日(土) 〃  
平成一六年 〇月二日(土) アポロ大分  
平成一六年 〇月二七日(土) 〃  
平成一七年 二月四七(五)日(日) 大阪府立青少年会館  
和歌山県(一泊研修)

全国大会  
平成一六年 六月二二(二)日 大分府立青少年会館  
平成一六年 六月二二(二)日 東京本部  
四〇周年記念大会 品川プリンスホテル  
「重慶児者のよりよい療育のために」  
四〇周年記念式典 明徳宮会館  
4専門部会  
平成一六年 九月四日(七)神戸市身障センター  
ブロック研修会  
平成一七年 一月五日(土) 奈良福祉文化会館 奈良県支部  
一国立病院機構における重慶児(者)福祉の現状について  
一重症心身障害児施設の手まじりについて

## 2004年度 収支決算書

自2004.4.1至2005.3.31

科 収 入 の 部		科 支 出 の 部	
目 目	金 額	目 目	金 額
41会費収入	888,700	31事務費支出	1,268,337
01正会員会費収入	759,700	01職員給料	0
02協力会員会費収入	129,000	02職員手当	0
42寄付金収入	565,000	03雑費	0
01寄付金収入	565,000	04法定福利費	0
43事業収入	256,170	05旅費	118,720
01バザー収入	0	06一般物品費	139,585
02その他の事業収入	256,170	07固定資産物品費	0
44補助金収入	0	08印刷製本費	130,381
01地方公共団体補助金収入	0	09光熱水費	0
02公益事業補助金収入	0	10修繕費	278,649
45本部助成金収入	812,498	11修繕費	0
01本部助成金収入	812,498	12雑務費	550,760
46雑収入	118,210	13借料現行	0
01雑収入	118,210	14雑費	50,242
47設備買入金収入	0	32事業費支出	1,846,106
01設備買入金収入	0	01職員報酬	850,000
48引当金戻入	1,100,000	02チャリティイベント活動費	1,031,500
01修繕引当金戻入	0	03分会活動費	0
02備品等購入引当金戻入	0	04調査発表事業費	0
03人件費引当金戻入	1,100,000	05機関紙出版費	54,606
49積立金戻入	0	06その他の事業費	0
01建設積立金戻入	0		
02その他の積立金戻入	0		
		33本部会費	296,000
		01本部会費	296,000
		34近畿ブロック会費	2,000
		01近畿ブロック会費	2,000
		35雑支出	18,000
		01慶弔費	0
		02雑支出	18,000
		36積立金繰入	0
		01建設積立金繰入	0
		02備品等購入引当金繰入	0
		03人件費引当金	0
		37引当金繰入	0
		01修繕引当金繰入	0
		02備品等購入引当金繰入	0
		03人件費引当金	0
当期収入合 計	3,740,578	当期支出合 計	3,530,443
前期繰越金	0	前期繰越金	210,135
収入合 計	3,740,578	支出合 計	3,740,578

平成十七年度事業計画

基本方針  
 重度の障害者についても一人の人間としての人格と個性を持っていて、そのことを認識し、重症心身障害児者が当たり前のひととして、当たり前の生活を続けられることを支えていきます。

地域福祉サービスの向上を目指し、平成一九年完成予定の重症心身障害児施設建設の一助となる活動を行います。重症心身障害児者当事者のニーズに応じた支援者育成のための研修会を執行いたします。

昨年一〇月、障害者自立支援法(案)が厚生労働省から発表され、改草案が世に出ました。最大注目点は、応能負担が利益負担となり所得に応じて負担額目から支度を受けた点、制負担となるところです。国は低所得者から実態としてには養育の要件が「世帯」になる等、減免の対象にならないに懸念しと懸念され、多くの方が苦しめる。障害の重い人ほど沢山の医療・支援が必要で負担が多くなるという考え方に当会は反対し、集会、ホームページ、機関紙等を通じ活動を展開します。

また、会員からの相談業務需要、これからの福祉情勢を勘案し、権利擁護に取り組んでいきます。

事業計画  
 1. 会員の拡大のための事業  
 パンフレットの配布、会員に向けた勉強会を開催し、会活動の理解を拡げる。また、各メディアを利用して広報活動を行います。

ホームページの運営により、情報の発信及び情報交換の場を持ちます。

2005年度 収支予算書

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
41会費収入	960,000	31事務費支出	710,000
01正会員会費収入	760,000	01職員俸給	0
02協力会員会費収入	200,000	02職員手当	0
42寄付金収入	500,000	03雑費	0
01寄付金収入	500,000	04流産補償費	0
43事業収入	250,000	04施設費	110,000
01バザー収入	0	06補助金費	100,000
02その他の事業収入	250,000	07固定資産物品費	0
44補助金収入	0	08印刷製本費	100,000
01地方公共団体補助金収入	0	09光熱水費	0
02公益事業補助金収入	0	10会議費	100,000
45本部助成金収入	600,000	11修繕費	300,000
01本部助成金収入	600,000	12雑務費	0
46雑収入	25,000	13燃料燃料費	0
01雑収入	25,000	14雑費	0
47設備資金借入金収入	0	32事業費支出	1,450,000
01設備資金借入金収入	0	01研修会開催費	700,000
48引当金戻入	0	02レクリエーション活動費	600,000
01修繕引当金戻入	0	03分会活動費	50,000
02備品等購入引当金戻入	0	04調査発表事業費	50,000
03人件費引当金戻入	0	04機関紙出版費	50,000
49積立金戻入	0	06その他の事業費	0
01要認積立金戻入	0		
02その他の積立金戻入	0		
33本部会費	350,000	01本部会費	350,000
01本部会費	350,000	34近畿ブロック会費	13,000
34近畿ブロック会費	13,000	01近畿ブロック会費	13,000
35雑支	22,135	01雑支	2,135
01雑支	2,135	02雑支	0
36積立金繰入	0	01要認積立金繰入	0
01要認積立金繰入	0	02その他の積立金繰入	0
37引当金繰入	0	01修繕引当金繰入	0
01修繕引当金繰入	0	02備品等購入引当金繰入	0
02備品等購入引当金繰入	0	03人件費引当金繰入	0
03人件費引当金繰入	0		
当期収入総計	2,335,000	当期支出総計	2,545,135
前期繰越金	219,135	当脚繰越金	0
収入合計	2,545,135	支出合計	2,545,135

月別活動予定	内容
四月	運営委員会
五月	運営委員会
六月	記念講演会(四定那場会(一日))
七月	運営委員会
八月	運営委員会
九月	機関紙・支える、発行
一〇月	運営委員会

6 機関紙の発行  
 会員相互の情報交換や情報提供の場として、また、会活動の場の場として機関紙・支えるを発刊し、会の活動の活性化及び会員の拡大に繋げます。(年間六回発行)

7 機関紙・支える、発行  
 さんめい共催

8 大阪府並びに各市に積極的に情報提供を行うと共に実態に応じた施策の実施を求めています。

9 大阪府並びに各市に積極的に情報提供を行うと共に実態に応じた施策の実施を求めています。

10 大阪府並びに各市に積極的に情報提供を行うと共に実態に応じた施策の実施を求めています。

新 せいめい賠償共済(全知共済)のご案内

「重症心身障害児(者)の方も加入できる」という、共済制度です。  
 守る会(団体)を通じての加入となりますので、急支訳で申込みを希望される方がある場合は、申込書は、所属する団体名称のところに(全国重症心身障害児(者)を守る会)と記入されたものを用意しておりますので、本票事務局にご請求下さい。

社会福祉法人 全国重症心身障害児(者)を守る会  
 事務局(担当:山本) TEL(03)3413-6781~3

交流会キヤン

二月 運営委員会  
 機関紙・支える、発行  
 強度行動課題問題を考える講演会(近畿ブロック共催)

三月 運営委員会  
 機関紙・支える、発行

四月 運営委員会  
 機関紙・支える、発行

五月 運営委員会  
 機関紙・支える、発行

六月 四月(土) 大阪府立青少年会館  
 七月(日) 砂子療育園  
 八月(土) アリオ大府  
 九月(日) 神戸市身障センター  
 十月(土) 香川県  
 十一月(日) 大府府立青少年会館  
 十二月(日) 大府府立青少年会館

平成十七年度 運営委員会  
 平成十七年 四月(二日)(土)  
 平成十七年 六月(四日)(土) 砂子療育園  
 平成十七年 七月(一日)(土) アリオ大府  
 平成十七年 八月(一日)(土) 大府府立青少年会館  
 平成十七年 九月(一日)(土) 神戸市身障センター  
 平成十七年 十月(一日)(土) 香川県  
 平成十七年 十一月(一日)(土) 大府府立青少年会館  
 平成十七年 十二月(一日)(土) 大府府立青少年会館

2. 第2日目

「みんなで読もう」

- ・ 4 6歳の娘の在宅介護と親の高齢化について
- ・ 守る会の会員で在宅介護の人は、約2割の2, 0 0 0人である。また在宅介護をしている方々の会員数の割合が3 0%以下の支部が3 2ある。在宅会員の分会の組織を作っていたきた。
- ・ 自立支援法になってからもサービス低下しないよう、在宅サポートの重要性を各自自治体へ浸透させる必要がある。
- ・ 地方にはなかなか情報が届かない。できれば全国大会のようなものを、年に1、2回東京で行ってほしい。
- ・ 動く重症児部会について、各県から実状があがってこない。
- ・ 動く重症児者が、高齢化による機能低下で車椅子生活になってきている。
- ・ 成年後見人制度について
- ・ 北海道は、範囲が広く在宅介護の問題は大変である。
- ・ 子供が4 0歳を超えて親も7 0歳を超えてきたが、訴えるのは親しかない。
- ・ 在宅介護の親の声を本部に届けてほしい。

意見発表

徳島県で在宅介護をされているお母さんと、愛媛県で在宅介護から施設入所された方のお母さんが発表されたが、いずれも私達の心に響くすばらしい内容でした。

第4 2回重症心身障害児(者)を守る全国大会に参加して



四天王寺和らぎ苑 家族の会 津垣 良隆



私は守る会に入会して3年目を迎えましたが、昨年東京での創立4 0周年記念大会に続き、本年も香川県高松市開催の全国大会に参加しました。

1. 第1日目

3つの分科会の内、第2分科会「障害者自立支援法(案)について」に参加しましたが、約7 5 0人の参加で大ホールもほぼ満席でした。講師は、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部の慶本課長補佐、助言者は、末光旭川荘副理事長、秋山本会副会長で、内容は非常に充実していました。

主な点を列挙します。

- (1) 障害福祉サービスの提供主体を市町村に一元化し、障害の種類にかかわらず、障害者の自立支援を目的とした共通の福祉サービスは、共通の制度により提供する。
- (2) 障害者が、企業等で働けるよう、福祉側からも支援する。
- (3) 市町村が地域の実情に応じて障害者福祉に取り組み、地域の限られた社会資源を活用できるよう、空き教室や空き店舗の活用も視野に入れて規制を緩和する。
- (4) 公平なサービス利用のために、手続きや基準の透明化、明確化を行う。国の予算に限りがあるため、重度、軽度の分類を明確化して手の届かない人には少なく、手のかかる人には多くのサービスを受けられるようにする。
- (5) 増大する福祉サービス等の費用を皆で負担し支え合う仕組みの強化をする。
- (6) 施設サービスについても、内容の明確化を図る。
- (7) 施設体系・事業体系の見直しを行い、概ね5年程度をかけて新体系へ移行する。
- (8) 重度の障害者の移動支援を行う(行動援護、重度訪問介護、移動支援事業等)
- (9) 極めて重度の障害者に対するサービスを適切に確保する仕組み(2 4時間ホームヘルパーが2つと年間2, 0 0 0万円~3, 0 0 0万円かかる)
- (10) 重度の障害者等への居住支援サービスの再編を行う。
- (11) 平成1 8年1 0月より重症心身障害児施設に係る制度改正で、すべて利用契約制度となる。
- (12) 利用者の費用負担と世帯の考え方(2 0歳以上) について等でした。

末光先生より次のコメントがありました。

- (1) 「売家と唐様で書く三代目」  
江戸時代に一代目は一生懸命に働いて店を出し、二代目は、父の姿をみて育ったのでまた一生懸命に働いてその店を大きくしたが、三代目は苦勞せずに育ったため教養はあったが、商才なく時代の流れについていけず、店をつぶしてしまった。  
重症児と重症児施設にとって今回大変な事柄はない。重症児施設がなくなるといふ危機は、予測を超える状況でハイスピードで現実になろうとしているが、危機意識を持っているのだろうか?
- (2) 親は、もっと勉強をして歴史認識を深めるべきである。
- (3) 守る会と施設の共同歩調が必要である。

天然の消臭力 エコウィン2 1

ムシ臭、イヤな臭いが気になる季節です。臭いの元は、雑菌が繁殖して腐敗してゆくの原因となります。

エコウィン2 1の善玉菌は腐敗から発酵へと変えてくれるのでニオイを元から変化させてくれます。しかも有害菌を殺さず共生しながら悪い作用を抑えてくれます。

使用される時はニオイの元に直接スプレーして下さい。

(使用例)

- ・ 使用後のまな板、包丁。
- ・ 魚を焼いた後のグリル
- ・ クツの中
- ・ 汗のニオイが気になる方はシャツを着る前に直接素肌のスプレーして下さい。
- ・ いらした汗をかいても気にならなくなります。

新発売になり、パワーアップしました。  
ラベンダーの香が付き、使いやすい容量になりました。



エコウィンって何?

エコウィン2 1は自然界に在る乳酸菌・酵母菌・光合成細菌などの8 0種以上の人にとって有用な微生物群(善玉菌/蘇生菌)を集めて培養したもので、酒や味噌・チーズなどの発酵食品に使われている微生物と同じ仲間。

有用微生物群(=善玉菌)が活躍する時代に

化学薬品・化学農薬に代わって、水質浄化・土壌浄化・生ゴミ分解・畜産飼料などに広く活用されるようになってきました。

「エコウィン2 1」金額：

2 5 0 ml (約2.5リットル) = 1, 0 0 0円

5 0 0 ml (約5リットル) = 2, 0 0 0円

[1 0倍に希釈して使用します]

スプレー容器: 2 5 0円(目盛付) 必要の方のみ



# お知らせ

## 強度行動障害問題を考える研修会

### 「行動障害を示す方たちへの取り組み」

寺尾 孝士氏 (おしまこロニー 星が丘寮施設長)

日時：平成17年9月4日(日) 10:00～受付  
11:00～12:30講演 12:30～13:30昼食 13:30～14:30講演

場所：大阪科学技術センター

主催：大阪府重症心身障害児・者を支える会  
全国重症心身障害児(者)を守る会・近畿ブロック(共催)

定員：200人  
詳細は別紙をご覧ください

## 「支える会」事務局

〒545-0021  
大阪市阿倍野区阪南町5-15-28  
育徳コミュニティーセンター2階  
大阪府重症心身障害児・者を支える会  
会長 鈴木 祥子

TEL 06-6624-2555  
FAX 06-6624-2565  
<郵便振替> 00930-9-69598

## 支える会ホームページのご案内

ドメイン名 <http://www.sasaeru.or.jp/>  
メールアドレス [osaka@sasaeru.or.jp](mailto:osaka@sasaeru.or.jp)

様々な御意見・御質問や情報をメールや  
掲示板にお寄せ下さい。

全国・各地へ  
リンクあり!



大阪府重症心身障害児・者を支える会  
〒545-0021  
0093019169598

平素より、本会の活動に御理解と御尽力を賜り誠に有難うございます。  
さて、本会の平成十七年度会費の納入時期が参りましたので、ご連絡申し上げます。今後も重症心身障害福祉のために全力を尽くします。ご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
なお、既に納入済みの方にはあしからずお詫しを賜りますようお願い申し上げます。

## 《会費納入について》



(会費の方は会費の中に含まれています)

### 編集後記

昨年、経理からプロ野球昇降機騒動が話題となりました。経理側もプロ野球の苦戦、何れもがぶつかり話し合いが行われ、プロ野球改革の目玉として交流戦が行われました。結果、観戦員費が言えばバリーグ球団は買収を条件とし、セリーグ球団は逆に買ったところが多く、全体では交流戦部品の競争率は高く、さすがに入社者の関心の高さか、いはば改革は芽吹たているように感じます。

プロ野球改革元年の交流戦動向としては、千葉ロッテマリーンズでした。この数年は、決して強くないとは言え、目玉は、決して弱くはないと、皆様に大きな感動を与えています。選手ファンが、選手275人、この2ヶ月を駆け回す姿勢は、皆さんに感動を与えています。選手ファンが、選手275人、この2ヶ月を駆け回す姿勢は、皆さんに感動を与えています。

大阪府重症心身障害児・者を支える会  
〒545-0021  
0093019169598

大阪府阿倍野区阪南町五-15-28  
育徳コミュニティーセンター2F  
TEL 06-6624-2555  
FAX 06-6624-2565  
郵便振替 00930-9-69598

大阪府重症心身障害児・者を支える会  
〒545-0021  
0093019169598

大阪府阿倍野区阪南町五-15-28  
育徳コミュニティーセンター2F  
TEL 06-6624-2555  
FAX 06-6624-2565  
郵便振替 00930-9-69598

編集委員 一同

# お知らせ

## 在宅の重症心身障害児(者)の生活実態調査(アンケート)に関する報告書について

在宅重症心身障害児(者)生活実態把握に関する調査研究会  
主任研究者 川崎医療福祉大学学長 岡田 喜馬  
協力 社会福祉法人 全国重症心身障害児(者)を守る会

詳細は本部へ(TEL 03-3413-6781-3)

## 「重症心身障害児者介護人養成講座(基礎コース7月)」のご案内

7月30日(土) 10:30～16:30 早川記念会館  
岸本 眞氏(河崎医療技術専門学校・理学療法士)他

7月31日(日) 10:30～16:30 阪南パラドーム  
岸本 眞氏(河崎医療技術専門学校・理学療法士)他

8月6日(土) 10:30～12:30  
吉田 くすほみ氏(言語聴覚士) 早川記念会館  
13:30～15:30  
藤井 建一氏(耳原総合病院小児科Dr)

定員 50名(全3日間受講可能な方)  
受講費 5,000円(テキスト、教材等を含む)

詳細は別紙をご覧ください

## 「支える会」入会のご案内

大阪府重症心身障害児・者を支える会(全国重症心身障害児(者)を守る会の大阪支部)への入会についてご案内いたします。

全国各地を合わせないで  
かなわない事があります



- 【個人会員】 年会費 8,400円  
本部「両親の集い」、本会「支える」発行購読料含む  
本部「支える」発行購読料含む
- 【法人・団体会員】 年会費 10,000(1口)  
本部「両親の集い」、本会「支える」発行購読料含む
- 【協力会員】 年会費 3,000円(1口)  
(運営資金の協力会員)  
本会「支える」発行購読料含む

申込み・問い合わせは事務局までお願いします。